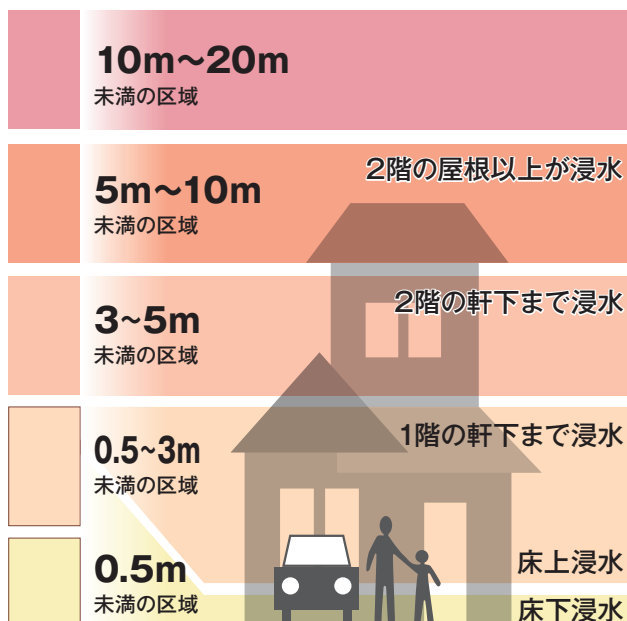


浸水想定区域(想定最大規模 L2(レベルに))

◆ 「浸水想定区域 L2(レベルに)」について

- (1) この図は、高梁川について、水防法の規定により指定された**想定し得る最大規模の降雨**による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図です。
(**おおむね、1000年に1回程度の大雨(48時間の総雨量674mm)が降った場合を想定しています。**)
- (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点(平成29年4月19日)の高梁川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により高梁川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) シミュレーションの実施にあたっては、支流の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫は考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4) 高梁川は、豪渓秦橋を境に上流部分は岡山県、下流部分は国土交通省と管理区域が分かれています。現時点では、「想定最大規模(L2)」の浸水想定は、国土交通省管理部分(豪渓秦橋から河口まで)のみとなっており、上流部分は未設定です。

浸水の深さ / 状況



浸水の状況に応じた避難行動

- ・ 浸水前の立退き避難が基本です。
 - ・ 氾濫がすでに始まっている場合は、近隣の高台など安全な場所へ。
 - ・ 外出すら危険な場合は、屋内安全確保
-
- ・ 原則として立退き避難。
 - ・ 浸水時に想定される浸水深を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保。